

広報 みはま



TOPICS

- 新春のあいさつ
- 三方五湖がラムサール条約湿地に登録
- 国民保護法に基づく実動訓練を実施
- 美浜町給食センター着工
- 美浜発電所の状況
- 議会ニュース
- 第四次美浜町総合振興計画答申

2006.1

びを申し上げます

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

今年は「自然かがやき人いきいきまちがにぎわう 美し美浜」を目指す第四次美浜町総合振興計画のスタートの年です。この振興計画は、町内の児童・生徒の皆さんは申すまでもなく町外の方々からもまちづくりに寄せられた熱い思いが凝縮された10年間のプランです。あらためて、振興計画を取りまとめ願った繁田清幸審議会会長をはじめ、審議会委員や参画いただいた多くの皆さんに心から感謝申し上げますとともに、振興計画をまちづくりの指針にしながらしっかりと町政を進めさせていただきたいと決意をいたしております。

さて、昨年の11月8日に三方五湖がラムサール条約湿地に登録され、一段と三方五湖のある町として美浜町の名声が国内外に知れ渡りました。

私達は、三方五湖を訪ねていただ



美浜町長
山口 浩太郎

く方々に感動と共感を覚えていただけるよう広域的な視点に立つて三方五湖の浄化や保全、そして賢明な営みを行うなど、重大な責務を担っていると考えております。

今年の秋には、いよいよJR湖西線及び北陸本線の敦賀駅までの直流化が実現し、関西圏・中京圏との結びつきが一層強くなり交流人口の増加が見込まれます。

昨年から本格的に取り組んでおりますスポーツ合宿や体験型観光を推進するため、まずは案内標識の整備等の受け入れ態勢の充実・整備を急がなければなりません。

また、本年2学期から小・中学校生の皆さんを対象にした給食センターが動き出します。児童や生徒の皆さんの健康づくりへの寄与はもちろん、地産地消運動の展開など、これを機に、美浜ならではの食文化の芽生えに大きな期待を寄せております。

原子力発電につきましては、一昨年の3号機事故を教訓に、昨年の7月には関西電力(株)の原子力事業本部が本町に移つてまいりました。また、再発防止に関する行動計画が定められ、会社あげての取り組みが現在進められております。

私は、まずは町民の皆様の安全が確保され、真の共生が実現できるかどうかの視点に立つて、厳正に対処する等、厳しく見守つて参りたいと考えております。

なお、昨年の11月には、国民保護法に基づく我が国初の実動訓練が行われました。

初めてのことで国・県との調整に苦勞いたしました。町民の皆様の安全・安心を確保するための関係機関との役割や相互の連携のあり方等について確認することができましたし、町民の皆様の国民保護に対する理解を深めていただけたのではないかと思います。

また、町民の皆様とのお約束であります下水道の整備。国道27号美浜東バイパスの完成と敦賀半島における県道の改良・整備、さらには舞鶴若狭自動車道の整備促進についても、引き続き全力を注いでまいります。

早いもので2期目の町政をお預かりして今年はその結びの年になりますが、第三次美浜町行財政改革を新年度から確実に実行するとともに、町民の皆様の行政への積極的な参画をさらにお願ひしたいと考えております。

年頭にあたり、町民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

謹んで新春のお慶



美浜町議会議長
永田 守

新年、明けましておめでとうございます。

輝かしい新年を迎え、町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様には、すがすがしい新年をご家族おそろいでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、町議会に対し、格別のご支援とご理解を賜り誠にありがとうございました。

昨年を振り返りますと、国レベルでは三位一体改革により地方分権が進み、その取り組みとしての市町村合併が全国各地で進んでおります。

県内におきましても合併が進み、9市8町になる予定でありまして、合併が始まる前の約半数17市町になることとなります。本町におきましても、合併に向けて検討していかねばなりません。

さて、これからの町の振興策につきましては、平成18年度から27年度

までの10年間にわたる第四次美浜町総合振興計画が策定されました。

このほか、本町の大きな動きといえます。給食センターが整備され、センターによる給食が本年の2学期から始まります。

児童、生徒に対しての食に関する教育や、地元の食材を利用する「地産地消」の推進をなご一層図って、児童生徒の健全育成ができるよう期待しております。

また、美浜東小学校の改修工事の間もなく完成する運びであります。今後引き続き教育環境を改善していかなければならないと思います。

道路の整備としましては、国道27号美浜東バイパスや舞鶴若狹自動車道の整備がありますが、新たに敦賀半島の県道の一部改良工事についても進められることになっており、これらの一日でも早い完成を望んでおります。

また、温泉施設の本格的な計画につきましては、現在、福井大学との共同研究が進められており、間もなくその結果が出されます。特色のある施設になり産業の活性化につながることを期待しております。

ソフト面では、一昨年「生涯学習のまち」宣言が行われ、現在、行政による出前講座が実施されており、町民の皆様に対しての情報提供が行われております。

また、昨年11月には三方五湖が国際的に貴重な湿地としてラムサール条約に登録され、自然環境の豊かさが認定されましたことは喜ばしいこととあります。これからは、三方五湖のみならず全町にわたり、優れた環境の保全と活用を町民一丸となつて考えていかなければならないと思います。

さて、本年3月は、美浜町議会議員の改選期となります。私たち議会議員にとっては、区切りの年でありまして、それぞれの議員が新たな出発を迎えることとなります。

残された期間はわずかではございますが、町民皆様のニーズとご期待に応えられるよう、また、町の発展を願い、議会議員としての責任と役割を十分認識しながら、議会運営に取り組みたいと思っております。

本年も議会に対し一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、町民皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。